

南区地域公共交通に関する意見交換会（会議概要）

1. 開催日時

平成29年2月2日（木）午前10時00分～午前11時00分

2. 会 場

新潟市南区役所1階101会議室

3. 出席者（敬称略）

【委 員】

北陸信越運輸局新潟運輸支局運輸企画専門官 伊藤 健一
新潟南警察署交通課長 渡部 春喜
南区自治協議会会長 棚村 真須美
南区自治協議会副会長 田村 義三郎
南区自治協議会副会長 青木 智子
新潟交通観光バス株式会社営業部乗合バス課 坂井 康人
新潟県下越南部ハイヤー協会会長 和泉 徹
南区役所建設課長 木村 正二，南区役所味方出張所長 牛腸 要一
南区役所月潟出張所長 宮本 康明，南区役所地域課長 川瀬 正勝

【事務局】

南区役所地域課課長補佐 拝野 博一
南区役所地域課企画・地域振興担当係長 伊藤 早苗
南区役所地域課企画・地域振興担当主査 蝦名 淳広

【報道関係】

1名

【傍聴者】

0名

4. 意見交換事項

- 「南区・区バスの利用状況」の説明（事務局）
 - ・資料1「南区公共交通ガイド（H28年度）」、資料2「南区・区バスの利用状況について」に基づき説明
 - 「南区・区バスの運行計画の変更」の説明（事務局）
 - ・資料3「南区・区バスの運行計画（変更）の概要について」、資料4「南区・区バス運行計画（変更）（案）」に基づき説明
 - 「南区・区バスの利用状況」「南区・区バスの運行計画の変更」 意見・質疑応答
- 棚村委員
- ・「白根・さつき野駅ルート」の帰りの便を17時台2本にするという話だが、これまでも、主な利用者である生徒の帰宅時間帯に合わないのが課題であった。結局、親が駅まで迎えに行く場合が多いようだ。今回も変えてみないとわからないが、遅い便を残して17時台を削ったほうが良いという考えもある。どちらを選択するか苦渋の選択だが、今回変更して、また更に利用者の声を聞いてみて、今後も利用者アンケートなどを継続するといひ。

○地域課長

- ・「白根・さつき野駅ルート」の帰りの便の始発時間については、実際に利用している方々に直接聞き取りを行い、検討した結果17時台を残した。これから新たに利用する人は、別に希望する時間帯があるかもしれないので、これからも利用者の声は聞いていきたい。また、その声を聞きながら、改善すべき点があればその都度検討していきたい。

○地域課長

- ・先ほど説明させていただいた区バス運行体系は複雑で、すべて一度に理解するのは難しい面もある。特に高齢者は「自分の使っているバスはどう変わるんだろう」と心配する方もいると思う。バス全般に関して、丁寧に説明していきたいので、「大人のためのバス教室」という出前講座を始めた。また「個人の方がどの時間帯に、どのルートのバスで行けばいいのか」、バス利用者それぞれの利用形態に合わせたオリジナルの時刻表を作成する「マイ時刻表」サービスも始めた。周りにバスで困っている人がいたら、地域課が相談に乗ると伝えていただきたい。

○青木委員

- ・「大人のためのバス教室」について、たいへんかもしれないが、少人数あっても地域から開催の要望があれば、地域課でぜひ対応してほしい。

○地域課長

- ・ご相談があれば、可能な限り対応していきたい。

○渡部委員

- ・警察では高齢者の事故防止を指導しており、免許自主返納の話もさせてもらっている。区バスや乗合タクシーは、一人暮らしなどの、車を運転しない高齢者にとっては欠かせない足となっている。「マイ時刻表」は便利だと思うので、事故防止指導などの場面で、積極的にアナウンスしていきたい。

○地域課長

- ・最近はニュースなどで、アクセル・ブレーキの踏み間違いなど、高齢者の車事故も耳にする。今後も、公共交通の利用啓発などについて、警察と連携しながら考えていきたい。

○棚村委員

- ・周りの人と区バスの話をすると「土・日曜の運行はないの」という声を聞く。社会実験のような形でもいいので、土・日曜の利用率が見込めるようであれば、これを考えていければいいと思う。また、何年か前に路線バス停留所には上屋を設置したと記憶しているが、区バスについても、例えば医院前のバス停などでは利用者が多いと思うので、バスを待てる場所の確保をしてほしい。難しい面もあるとは思いますが、車社会では「ドアからドアまで」のところを、自家用車をやめてバスに転換する人のことを考えていかないと、バス利用者の増加は難しいと思う。もうワンランク上の便利さをお願いしたい。

○青木委員

- ・ 棚村委員の意見に同感である。暑さ、寒さの中、高齢者がバスを待っているのを見ると本当に大変だと思う。上屋を作るのが難しければ、何か座れるものだけでもあればいい。

○地域課長

- ・ 土・日曜のバス運行については、社会実験を開始するにも、一定の利用者が見込める等、一定のルールの中でやっている。その辺も睨みながら考えていきたい。待ち時間の快適性については、その通りだと思うので、何ができるのか検討していきたい。また皆様にもご相談させていただきたい。

○田村委員

- ・ 区バス、住民バス、乗合タクシーと何種類もあってなかなか分かりにくい。区バスと乗合タクシーだけにするとか、公共交通の種類をまとめてほしい。運行主体だとか、運輸局とか、そういう問題もあると思うが、将来的にはひとつのバスにまとめてはどうか。利用者から見て、分かりやすいものであれば、免許返納も進むのではないか。法的な問題もあるのかもしれないが、そういう研究をしてほしい。

○地域課長

- ・ 今の公共交通体系がベストとは思っていない。これからも研究していきたい。今現在は複雑でも、「マイ時刻表」などを使って、わかりやすいようご案内していきたい。月潟では住民バスが走っているが、あくまで住民主体で運行されるもの。また区バスに変更したいとか、地元から声が上がれば検討していきたい。その都度、ご意見をいただければと思っている。

○田村委員

- ・ 区がPRするために出向く出前講座について、地域から開催要望があったから出向くのではなくて、もう少し積極的に、老人クラブとか、地域の総会とか、PRできる機会はたくさんあるので「こういう話をしたい」という姿勢でしてほしい。地域の茶も間もある。積極的な働きかけをしてほしい。

○地域課長

- ・ そういう姿勢でありたいと思っている。やり方も検討していきたい。

○坂井委員

- ・ フリー乗降区間を新たに設けて、夕方以降はフリー「降車」区間とする、とのことだが、もし夕方以降に「乗車したい」と現場で手を挙げる人がいた場合の対応はどうするのか。また「北部ルート」の一部区間については、今まで区バス車両が通っていないが、道幅とか問題はないか。

○地域課長

- ・ 現地確認しており道幅等の問題はない。また夕方以降はフリー「降車」区間とすることは、暗い時間帯に手を挙げる乗客の見落としにつながる恐れもあることが

主な理由。夕方以降のフリー「乗車」は、一律で不可としたい。夕方以降に手を挙げている人がいたとしても乗車させることはできない。今後、「夕方以降もフリー「乗車」したい」という声がたくさん上がれば、また、この場で相談させてほしい。

○棚村委員

- ・お年寄りには細かいルールは覚えるのがたいへんだ。この便、何時からは乗れないとか覚えてられないのでは。

○渡部委員

- ・夜間などで視界が悪い中、フリー乗車するお客さんが立っていないか、常に視線を左側に向けながらバスを運転するのはとても厳しい。もちろん常に人の飛び出し等がないか、安全にも注意を払わなくてはならず、夕方以降フリー「乗車」させることは難しいと考える。

○棚村委員

- ・冬場に路線バスでよく見る光景でもあるが、やっと来たバスが満員で、誰も乗れない状況で通過してしまい、「小学生が乗ることが出来ずにかわいそう」とかつい特されていることがあった。運転手が車内で「前に詰めてください」と言ってくれる人とそうでない人がいる。運転手さんの配慮とお客のマナー、両方とも大事ではあるが、新潟交通の運転手は基本的にどういう対応をしているのか。

○坂井委員

- ・国道8号新潟方面の話だと思うが、朝は慢性的に混雑している状況なので、その辺りをご理解いただきたい。車内での運転手の配慮については、配慮が足りなくて申し訳なかった。不足している部分について継続的に指導していきたい。ただ乗客をたくさん乗せ過ぎると、具合が悪くなる乗客も出てくるので、そういう状況も踏まえて、より良くなるように検討していきたい。

○和泉委員

- ・先ほどのフリー「降車」区間の話でもう一度念を押すが、事故防止という観点から、夕方以降「乗れない」というルールは徹底してほしい。先ほど、今回バスが初めて通る区間があるという話があったが、認可的な部分は間に合うのか。

○伊藤委員

- ・意見交換会とか公共交通会議で関係者から合意が得られているということで処理期間の短縮ということも踏まえて、逆算して今日が開催日として設定されている。

○地域課長

- ・本日まで説明した運行計画等について、皆様からいただいたご意見を2月9日に開催される第3回新潟市地域公共交通会議で報告させていただく。(会長)